

【2】開発方式調査

1. 調査海域

調査実施海域は図-4に示したが、那覇市の西方約30kmの慶良間諸島の渡嘉敷島（渡嘉敷村）渡嘉志久地先である。当海域は慶良間海峡に向かって開口した小さな湾地形となった海域で本県では数少ない内海域となっており、周年通じて比較的穏やかな海域である。

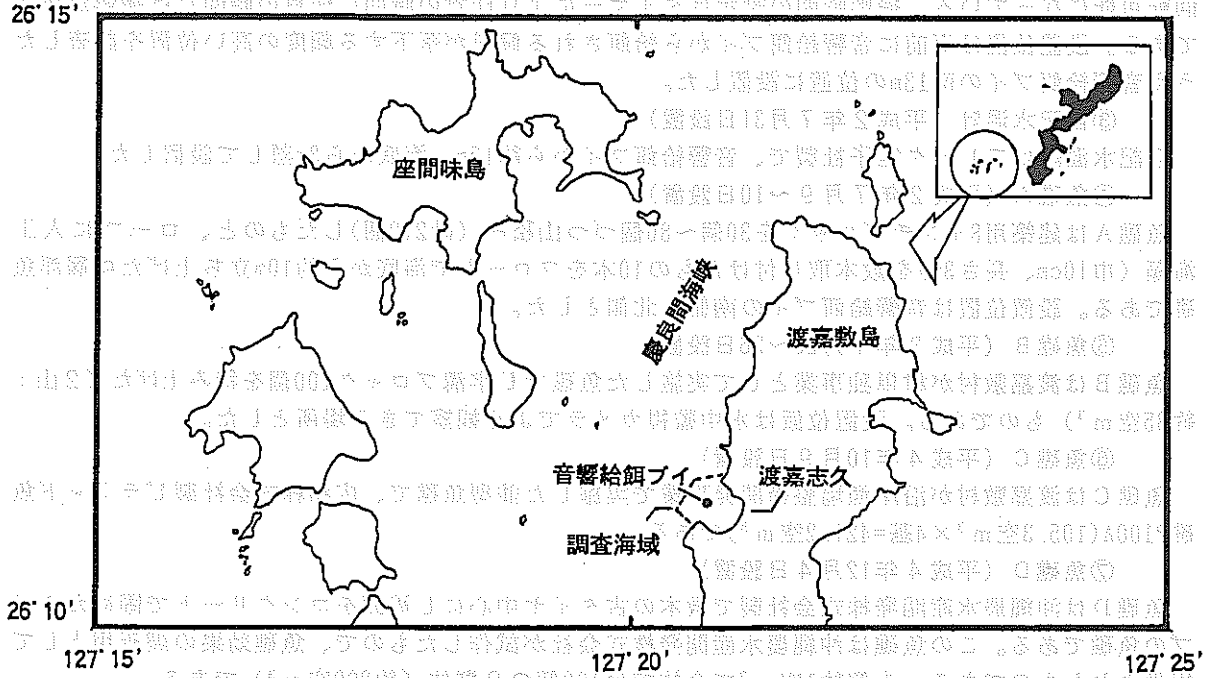


図-4 調査海域図

2. 事業経過

平成元年度から平成5年度までの事業経過は次のとおりである。

- 平成元年度
  - 平成元年6月～11月：音響給餌ブイ設置予定地周辺調査及び設計調査
  - 平成元年12月：音響給餌ブイ設置
- 平成2年度
  - 平成2年7月：魚礁A設置(817kg、ロック270個、中層浮き魚礁8基)
  - 平成2年9月：水中監視カメラ設置
- 平成3年度
  - 平成3年1月：魚礁B設置(30×40cmU字溝200個；渡嘉敷村単独事業)
- 平成3年度
  - 平成3年11月：自記水温計設置
- 平成4年度
  - 平成4年10月：魚礁C(並型魚礁設置事業)設置
  - 平成4年12月：魚礁D(タイ+コンクリート魚礁)設置